





研究者名※	河本 真理 KOMOTO Mari	学位※	博士(美術史学)
所属※	人間社会学部 文化学科	職名※	教授
連絡先	komotom@fc.jwu.ac.jp		
URL	http://www.		
researchmap※	https://researchmap.jp/7000010738		
研究分野※	美術史		
研究キーワード※	西洋美術史		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・カモフラージュから見た芸術／軍事／イデオロギーの総合的研究(科学研究費・基盤C・研究代表者、2019年～) ・コラージュと服飾デザインに関する比較研究(科学研究費・基盤C・研究代表者、2015～2017年) ・第一次世界大戦と現代世界の変貌についての総合的研究(科学研究費・基盤A・研究分担者、2012～2014年) 		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度宮城県美術館講座「切断の時代—20世紀美術におけるパウル・クレーのコラージュ」(2018年3月) ・広島県立美術館講演会「1920～30年代の西洋美術と広島県立美術館のコレクション」(2017年10月) ・ひろしま美術館講演会「混沌の中の静寂—20世紀の〈印象派〉ソシエテ・ヌーヴェル」(2016年3月) ・長崎県美術館講演会「近現代の〈総力戦〉と葛藤する美術—ナポレオン戦争から広島・長崎まで」(2015年9月) ・広島県立美術館講演会「〈戦争の世紀〉と葛藤する美術—二つの世界大戦とその狭間で」(2015年8月) ・第41回大原美術館美術講座「葛藤する形態 第一次世界大戦～両大戦間期の美術」(2015年7月) ・横尾忠則現代美術館講演会「横尾忠則 カット&ペーストが織り成すコラージュの万華鏡」(2015年6月) 		
受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・第29回サントリー学芸賞(芸術・文学部門)(2007年) ・第24回渋沢・クロード賞レイ・ヴィトン ジャパン特別賞(2007年) 		

研究領域	西洋近現代美術史	(SDGs)	 
研究テーマ※	カモフラージュから見た芸術／軍事／イデオロギーの総合的研究		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】</p> <p>カモフラージュは、元々自然界に存在する「擬態」などに想を得て、敵の目から対象を隠し、敵の目を欺く技術である。第一次世界大戦時の飛行機と航空偵察写真というテクノロジーの発達に直接対応して開発された現代戦のカモフラージュには、多くの芸術家が携わり、軍事技術を超えたモダン・アートとの関わりが新しい造形言語のパラダイム——抽象(無対象)絵画など——につながる側面を持っていた。本研究では、カモフラージュを通して、(美術・建築を含めた)芸術・文化／生物学／軍事／イデオロギーの関係を領域横断的に考察する。研究の対象とする時代は、第一次世界大戦から第二次世界大戦(後)まで、地域は西洋(フランス・イギリス・ドイツ・アメリカ)だけではなく、日本のカモフラージュの受容も射程に入れる。</p> <p>【応用例、研究の展望】</p> <p>本研究で独自な取り組みとして、西洋のカモフラージュだけではなく、それを受容した日本のカモフラージュも取り上げる。特に海外で日本のカモフラージュへの関心は高まっているが、日本占領関係資料(英語)のみから情報を得ている場合が多く、日本人によって書かれた偽装に関する理論書や資料、美術・デザイン教育の教本を分析した研究は少ない。本研究で日本側の資料を分析し、占領関係資料と突き合わせることによって、日本のカモフラージュの理論・教育と実践をカモフラージュ全体の文脈の中に位置づけることができるだろう。</p> <p>【研究方法の特色】</p> <p>Service historique de la défense, Penrose Archive(National Galleries of Scotland), Lee Miller Archives等の未公刊資料を幅広く収集し分析を行っている。</p>		
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・河本真理「カモフラージュ:美術／生物学の交差する戦線」『西洋美術研究』No. 21、2022年刊行予定 ・河本真理「モダン・アートの〈参戦〉と〈擬装〉—美術／軍事／イデオロギー—」山室信一、岡田暁生、小関隆、藤原辰史(編)『現代の起点 第一次世界大戦 第3巻 精神の変容』、p. 55-80、岩波書店、2014年 		
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 		

